

お知らせ

気候変動適応策推進の新プロジェクトがスタート!

近年、各地で異常気象が起こっています。また、今後数十年間は気温上昇がとまらないという予測もあります。このようなすでに現れている気候変動の影響や将来の避けられない影響に対して、「適応」することが必要となっています。気候変動の影響は地域によって現れ方が異なるため、適応の実施主体は地方自治体となります。

文部科学省では、地方自治体における適応の推進を研究目的とした「気候変動適応技術社会実装プログラム」(SI-CAT)を今年度から開始し、当研究所は長野県内の適応を推進するモデル自治体研究機関として参画することになりました。他のさまざまな研究機関と共同で、長野県における気候変動予測と、農業、防災、生態系、都市・健康分野における影響評価に取り組み、それらを踏まえて県内の適応を進めるための体制を作っていきます。また気候変動の影響や適応策について多くの方々との議論する場を設け、適応策という考え方の普及にも貢献したいと考えています。ご期待ください。



平成28年度の催しのご案内

当研究所では、ご好評をいただいております交流イベント「サイエンスカフェ」や「自然ふれあい講座」などの催しを、新年度も開催します。どうぞお気軽にご参加ください。

◆山と自然のサイエンスカフェ@信州◆

- ① 5月20日(金) 温暖化で信州の森はどう変わるか
 - ② 7月15日(金) 信州の山 その自然の魅力に迫るⅠ
 - ③ 8月5日(金) 信州の山 その自然の魅力に迫るⅡ
- 開催時刻：いずれも午後6時～7時半
場 所：ステーションビル MIDORI 長野 3F りんごのひろば

◆自然ふれあい講座◆

- ① 6月25日(土) 自然史王国信州を歩く～日本列島の東西境界～
場 所：入笠山(富士見町)
- ② 8月上旬 みんなで温暖化ウオッチ～セミのぬけがらを探せ!～
場 所：大町市、長野市、松本市、伊那市、上田市、飯田市

このほかの催しの予定、各回のご参加方法などは、決まり次第お知らせします。

※ 詳細は、講座ごとに開催約1ヶ月前に研究所のホームページやプレスリリースを通じてご案内します。(日時・内容は変更する場合があります。)

編集後記

昨年12月のCOP21で採択されたパリ協定は、今世紀後半には人間活動による温室効果ガスの排出を実質ゼロにするという目標を掲げました。今世紀後半という先のこととてしまいがちですが、それは今の子どもや赤ちゃんが生きる時代です。この世紀をどんなふうか描いていくのか、研究所もそのお手伝いができればと思います。よろしくお願いいたします。(編集担当 須賀)